

中台住宅自治会

中台住宅自治会は、昭和36年10月、当時の町名である中台町に東京都住宅供給公社が建設した中台町住宅の居住者が、翌年7月に結成した自治会です。

自治会は、住みよい住環境の実現を基本としており、住宅の修繕や共用部分の維持管理については、居住者の要望を取りまとめ都住宅供給公社に実現させてきています。一方、居住者の親睦活動にも力を入れています。お花見会、暑気払い、バスツアー、ふれあいサロン等を実施しています。

しかし、令和2年4月から新型コロナウイルス感染防止対策のため「緊急事態宣言」等が繰り返し発令され、親睦を図るための行事は殆ど中止しています。

新型コロナウイルス感染が収束し、引き続き安心して住み続けられる団地を目指し会員と共に活動を続けていきます。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています

団地のシンボル
「椎の木」
(建設以来大木となり
公園に鎮座)



自治会行事、
日帰りバスツアー
(富士山世界遺産
センター)

